



発行：校長 柴田 司

充実の2学期でした。部活動、文化的活動も頑張りました！

終業式で、部活動や文化的な取組について、こんなにたくさんの表彰をさせていただきました。
今一度、みなさんの頑張りを称えたいと思います。本当におめでとうございます。

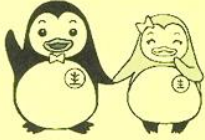
・備前西地区中学校秋季体育大会	男子 個人戦 第2位	片山咲風、日笠朝樹 ペア
ソフトテニス競技の部 南ブロック予選	女子 個人戦 第3位	堤 愛桜、角谷一華ペア
・備前西地区中学校秋季体育大会 陸上競技の部	女子2年1500m 第2位	難波星良
	女子1年1000m 第2位、女子2000m 第3位	小野芽衣果
・第73回岡山市中学校駅伝競走大会 女子の部 第5位	難波星良、高橋優里、 小野亜衣莉、宮本愛千、小野芽衣果	
・令和3年度 岡山市中学校体育連盟 会長表彰 陸上競技	小野亜衣莉	
・令和3年度 岡山市中学校体育連盟 会長表彰 バスケットボール	仲原 輝	
・令和3年度 岡山市中学校体育連盟 会長表彰 バスケットボール	内田結菜	
・令和3年度 岡山市中学校体育連盟 会長表彰 剣道	武田美咲	
・岡山県中学校秋季柔道大会	女子個人 第3位	岩橋優花
・岡山市青少年育成協議会「明るい家庭づくり」ポスター・絵 中学校の部	優秀	黒崎杏珠
・第54回受信環境クリーン図案コンクール（中国協議会）	優秀賞	藤原芽唯
・第71回「社会を明るくする運動」第20回岡山地区小中学生作文コンテスト	入選	草野凜桜
	入選	高原史帆
	最優秀	大森開翔
	奨励賞	福南中学校
・第71回「社会を明るくする運動」岡山県推進委員会委員長賞	大森開翔	

<今後の主な予定>

・1／ 6（木）1・2年課題テスト、3年自己診断テスト（2教科）、始業式、学活 ・1／ 7（金）1・2年課題テスト、3年自己診断テスト（3教科）、給食開始 ・1／11（火）3年私立1期入試願書点検（3年5限後下校） ・1／12（水）集金日、あいさつ運動 ・1／13（木）3年模擬面接（5・6限）、1・2年生給食後下校 私立1期入試出願（～18日） ・1／15（土）土曜参観授業（3年・1～3限、下校）（1・2年・1～2限、下校） 1年修学旅行説明会（2限）、1・2年学級懇談会（3限） 古紙回収、13：30～新入生入学説明会（体育館） ・1／17（月）振替休業日 ・1／18（火）卒業アルバム集金日（～19日） ・1／21（金）3年公立特別入試願書点検（3年給食後下校） ・1／25（火）公立特別入試出願（～27日） ・1／26（水）3年私立1期入試事前指導（5限） ・1／27（木）私立1期入試①、2年自己診断テスト ・1／28（金）私立1期入試②、2年職場体験事前訪問	※コロナ禍の中、今後も予定変更の場合は、その都度ご連絡いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。
--	--

第71回 社会を明るくする運動
第20回
岡山地区小中学生作文コンテスト表彰式及び発表大会

作文集



日時 令和3年10月30日(土) 受付 13時30分
開会 14時

場所 岡山市南区西田690-1
南ふれあいセンター

主催 社会を明るくする運動 岡山市推進委員会

共催 岡山市保護司会連合協議会
岡山市教育委員会 吉備中央町教育委員会

後援 岡山保護司会連合協議会 岡山県更生保護協会
岡山県福祉市民局 岡山県青少年財団
岡山県保護司会連合会 山陽新聞社
岡山県更生保護女性連盟 (敬称略 敬不問)



大森さん最優秀、福南中奨励賞
ダブル受賞（表彰会場にて）

社明運動作文コンテスト

大森さん(福南中1年) 最優秀
藪田さん(西大寺小6年)

「社会を明るくする運動」の岡山市推進委員会(市や市保護司会、連絡協議会などで構成)が募った「第20回岡山地区小中学生作文コンテスト」の入賞者32人が決まった。最優秀賞は、福南中1年大森開翔さん(中学生の部)と、西大寺小6年藪田真義さん(小学生の部)。30日に南ふれあいセンター(南区福田)で表彰式を開く。

大森さんは、あいさつを続ける。つは互いに認め合い、気に掛け合っていることと強調。非行や犯罪を防ぎ、明るい社会に「あいつは社会をよくするための1番身近な運動」とつづった。

藪田さんは刑務所受刑者が作った製品の展示即売会に行った経験から、出所者に思いをはせた。「その人個人を理解して、信じられるのか」と悩みつづ、分け隔てなく気持ちのいいあいさつを続けた。

作文は7、8月に市と吉備中央町内で募集し、中学生の部に39校の1089人、小学生の部に75校の1447人の応募があった。各部で優秀賞5人、入選10人も選んだ。優秀賞は次の皆さん。(敬称略、数字は学年)

【中学生の部】頭心望(福浜3) 鈴木遼大(桑田2) 田辺殊羽(灘崎2) 藤原千晴(立岡山操山1) 細川友萌(高松2)

【小学生の部】青山颯太(岡田杏、小川陽雅(横井6) 藤井さな(幸島6) 森紀乃(吉備6)

(平田亜沙美)

いと結んだ。
作文は7、8月に市と吉備中央町内で募集し、中学生の部に39校の1089人、小学生の部に75校の1447人の応募があった。各部で優秀賞5人、入選10人も選んだ。優秀賞は次の皆さん。(敬称略、数字は学年)

犯罪を止めることはありません。例えば未成年がたばこを吸っていても、お酒を飲んでいてもカメラはそれを映すだけです。誰かが窃盗をしていても同じです。でも人が見ていたら、知っている人が見ていたら、大切な誰かを思い出し、その人を悲しませてはいけないうい人の感情が生まれると非行や犯罪を抑制すると僕は思います。その抑制剤が、人と人がするあいさつだと僕は思います。

また、このあいさつによってつながった人と人は、災害などの場合の助け合いにもつながると思います。僕も向かいのおばちゃんに何かあったら、僕にできる精一杯の力をかしたいと思いますし、きっと僕の両親も同じ気持ちだと思います。

そのように考えるとやはりあいさつは、社会をよくするための一番身近な運動だと思います。なぜなら、誰でも寝て起きて、最初の言葉、「おはよう」のあいさつからその日のすべての始まりからです。

そして、あいさつされて嫌な気持ちになる人は少ないはず。僕の学校には「あいさつの数だけ笑顔が咲く」というスローガンの垂れ幕があります。まさに、その通りだと思います。

僕も、あいさつでたくさんの方々の笑顔を咲かせて、これからの僕たち若い世代が築く社会が少しでも非行や犯罪のないよりよい社会になるよう努めていきたいと思っています。

「あいさつ」からはじめよう

岡山市立福南中学校 一年

大 森 開 翔

「社会を明るくする運動」について考えた時、僕は一番に「あいさつ」が頭に浮かびました。

なぜ「あいさつ」が浮かんだかというと、僕の両親は共働きなので、僕が学校に行く時間には二人とも家にいません。いつも朝、学校に登校する前に玄関の鍵を閉めて黙って家を出発します。でも、必ず向かいの家のおばちゃんと犬が表に出ていて、おばちゃんは、いつも「いつてらっしゃい。気を付けてね。」と声をかけてくれます。僕は、「いつてきます。」と応え学校に向かいます。少し恥ずかしい感じにもなりますが、本当はとても嬉しく明るい気持ちになります。雨の日でも、晴れているような気持ちになるから不思議です。ある日、母が「むかいのおばちゃん、いつも開翔が帰って来る時も家の前に出てくれていたのだった。」と言った。そういえば、いつも帰宅する時間におばちゃんと犬がいます。「おかえり、暑かったね。」などと声をかけてくれます。母は「おばちゃん、若い子と話してできるのが楽しい。」と言っていたけど、本当にありがたいよね。そうやって気にかけてくれて。」と話しました。「お母さん達がいないうちに何かあったら、向かいのおばちゃんや隣のおじちゃんに声をかけるんだよ。助けてくれるから。」とも話しました。

もし、おばちゃんがすぐ近くににいるのに、何も言ってくれなかったら、また、僕自身もあいさつをしなければ、きっと僕はどんよりとした暗い気持ちになるに違いないと思います。近くにいる人があいさつをしてくれないと自分が否定されているような、社会に無視されたような気持ちになります。お互いにあいさつをすることでお互いを認め合っているように僕は思えます。それから何より自分のことを気にかけてくれているのだ、と嬉しく思います。

だから、学校でも地域でも家庭でもお互いにあるあいさつを交わすことが大切だと思います。お互いを認め合うこと、私は、あなたを気にしていますという気持ち、その気持ちがつながって広がることで非行や犯罪を防ぎ明るい社会になると思います。コロナ禍も相まって人々の孤立感が増す今だからこそ、あいさつは必要だと思います。

また、地域の人とあいさつすること、その住民であることも分かり合え、不審者発見にもつながると思います。近年は、防犯カメラの設置も防犯対策につながっていますが、防犯カメラは言葉を発しません。防犯カメラはそこにあるものを映すだけです。非行や